



TOP 10 アナリティクス

「購買から支払い」分析編

購買から支払いまでのサイクルの管理は非常に大変です。大量の取引データが複数の IT システムとアプリケーションに存在し、承認プロセスも複雑なことが多いからです。会計上のミス、重複支払い、仕入れ先と従業員による不正が重なれば、毎年億単位の損失が発生します。

ACLは、豊富な経験を活かして、さまざまな分析テストを開発してきました。これらのテストは、調達、購入、受け入れ、買掛金、および支払いプロセスに潜む重大な統制上の「穴」を検出するのに役立ちます。今すぐTOP10テストを始めましょう。

重複支払い	重複支払いの可能性を洗い出すことで、仕入れ先に対する支払いが妥当であることを確認します。仕入れ先、請求書、数量、日付のうち、1つ以上のデータ要素が同じか、類似している場合は、重複請求の可能性がります。
重複請求	重複請求の可能性を洗い出すことで、仕入れ先からの請求書が妥当であることを支払い前に確認します。仕入れ先、請求書、取引種別、数量、製品/サービス、日付のうち、1つ以上のデータ要素が同じか、類似している場合は、重複支払いの可能性がります。
重複 / 架空仕入れ先	不正支払いに利用されるおそれのある仕入れ先かどうか、または存在せず、支払いの問題を引き起こす仕入れ先かどうかをテストします。
従業員と仕入れ先の一致	仕入れ先マスター ファイルで仕入れ先として設定されている従業員を検出します。名前、住所、電話番号、電子メールアドレス、銀行口座番号のうち、1つ以上のデータ要素が同じか、類似している場合は、従業員と仕入れ先が一致している可能性があります。費用の払い戻しのために、仕入れ先マスターの中で既に従業員として登録されている仕入れ先はこの分析から除外してください。
分割購買申請	会社の承認制限をくぐり抜けるためになされた可能性のある分割申請を検出することで、購買申請が承認され、かつ正当であることを確認します。同じ従業員によって承認された、同じ仕入れ先に対する 2 件以上の取引の合計申請金額が、従業員の承認限度額を超えていないかをチェックします。
適切な承認	正当な権限を持つ社員により、適切な承認限度額に基づき、金額が承認されているかどうかをテストします。
一時仕入れ先からの複数の請求書	実際には定期的に利用されている一時仕入れ先を特定します。
請求書番号の書式	請求書番号の書式が通常と異なる疑わしい請求書を切り分けます。正しくない書式は、不正行為、または情報の誤記入の可能性を示していることがあります。
仕入れ先マスターの頻繁な変更	承認された支払いを横領するために仕入れ先マスター レコードの重要なデータが頻繁に変更されていないかを調べます。
古い発注書に対する請求	支払いが行われる前に、古い発注書に対する疑わしい請求書がないかどうかを調べます。

お問合せ先窓口

株式会社エージーテック
 TEL: 03-3293-5300 (代表)
 Email: sales@agtech.co.jp